

あわら 市議会だより

9月定例会報告	2p
議会報告会	3p
委員会報告	7p
一般質問	9p
請願・陳情・意見書	12p
議案と結果	13p
議会日誌・ふるさと探訪	14p

No.34

平成24年10月15日 発行

天までとどけ
(伊井保育所10周年記念イベント)

議会報告会

4月に開催した議会報告会では、市民の皆様にも多くの貴重なご意見をいただきました。その時にいただいた質問・要望について、理事者に対して回答を求めましたので、その結果を掲載します。



建設中の嶺北あわら消防署

総合振興計画や都市計画マスタープラン、農業振興地域整備計画などに基づき、地域ごと



改築中の（仮称）生涯学習館

一方、地域の利便性を確保するため、各公民館

■教育総務課所管

●新給食センターになると給食費が上がるかどうか、保護者に説明してほしい。

《回答》滞納に対しては、法に従い適正な収納に努めており、今後も税負担の公平という観点からも、今まで同様に収納を推進していきます。

■収納推進課所管

●滞納者に対する対策をしっかりと行っていくほしい。

《回答》滞納に対しては、法に従い適正な収納に努めており、今後も税負担の公平という観点からも、今まで同様に収納を推進していきます。

●中心市街地以外にも文化施設を設置してほしい。

《回答》図書館や資料館といった文化施設については、利用者の交通の便などを考慮し、人口の多い市街地に立地しています。

■政策課所管

●中心市街地だけでなく、市全体の活性化策を出すべき。

《回答》地域の特性は、土地の利用計画があるように、それぞれの地域に特徴と役割があります。商業、工業、観光、農業といった産業の集積の違いにより、各々の活性化策は異なってくると思います。市では、総合振興計画や都市計画マスタープラン、農業振興地域整備計画などに基づき、地域ごと

■総務課所管

●集落間に防犯灯を設置してほしい。

《回答》集落間で協議し、防犯灯設置事業補助制度を活用して区での設置をお願いします。

補助率は、集落間の場合は1/2（LED化は7/10）となっています。

9月定例会

平成24年度一般会計補正予算(第4号)

1億5,023万2千円を増額!

平成24年度一般会計補正予算(第5号)

3億6,025万9千円を増額!



本荘幼稚園 運動会(9月22日)

- 一般会計予算総額は140億5,156万9千円に
- 学校給食センター 平成24、25年度において13億9千234万7千円をかけ建設へ!
- 決算審査特別委員会を設置

委員長 森 之 嗣 副委員長 牧 田 孝 男
委員 杉 本 隆 洋、山 田 重 喜、三 上 薫
八 木 秀 雄、山 川 知 一 郎、丸 谷 浩 二

平成24年9月定例会が9月3日から21日までの会期で開催されました。

今定例会では、健全化判断比率等の報告に関する2議案を受理し、専決処分に関する1議案、決算の認定11議案、補正予算に関する4議案、条例の改正に関する1議案、市道の認定に関する1議案の計18議案が上程され、決算の認定を除く7議案はすべて原案のとおり承認・可決しました。決算の認定については、決算審査特別委員会において審査することから、継続審査となりました。

また、今回は5名の議員が一般質問を行い、理事者に対して市政をたしました。

その他、請願1件を不採択とし、また、議員発議による意見書2件を可決しました。

12会場で開催! 議会報告会のお知らせ

市民の皆さまに日ごろの議会活動を広く知っていただくために、議会報告会を開催します。

今回は、定例会の審議内容について報告させてもらい、そのあと意見交換を行います。

いずれの会場でもお気軽にご参加ください。

日 時	会 場
10月25日(木) 19:30~21:00	あわら市商工会 芦原支所
	本荘公民館
	中浜区民館
10月26日(金) 19:30~21:00	北潟公民館
	波松区民館
	水口・天王自治会館
10月29日(月) 19:30~21:00	ふるまち ふれあい会館
	さくらセンター
	熊坂農村環境改善センター
10月30日(火) 19:30~21:00	劔岳公民館
	伊井公民館
	浜坂区民館

●公民館や幼児園を建てるなら、地元産の木材を使い林業を振興してほしい。

《回答》 芦原小学校や芦原幼児園などの改修の際、地元木材による施工を実施しており、今後も、公共事業にはできる限り地元産材を使うように努めていきたいと考えています。

また、来年度より坂井森林組合が地元間伐材を使用し、高い需要が見込まれる木粉・燃料用ペレットを生産する予定となっております。これにより地元間伐材の有効利用が図られ、林業の活性化につながるものと考えています。

《回答》 あわら市では、JR芦原温泉駅前の空き店舗を活用して、伝統文化、情報などを紹介し、当市の魅力の創出と駅前商店街の賑わい創出を図るために、アンテナショップを運営しています。



漫画 ちはやふる

●漫画「ちはやふる」の人気にあやかり、旅行会社とタイアップした、あわら温泉ちはやふるツアーを企画してはどうか。

《回答》 あわら市では、JR芦原温泉駅前の空き店舗を活用して、伝統文化、情報などを紹介し、当市の魅力の創出と駅前商店街の賑わい創出を図るために、アンテナショップを運営しています。

●セントピアあわらの収支を公表してほしい、また、駐車場を広くすべきである。

《回答》 市の一般会計の決算のように広報紙には掲載しておりませんが、閲覧は可能です。

駐車場については、一時的に込み合うときがありますが、近くにある当施設の駐車場には余裕があるため、こちらの駐車場をご利用いただいております。しかし、平成26年度



セントピアあわら

《回答》 金津地区、芦原地区ともに「パークアンドライド」式による無料駐車場が確保されており、他に、駅や商店街等を利用する方々の利便性を確保するため時間制限を設けての無料駐車場も設けております。

●県道の拡幅要望について(①県道波松芦原線の拡幅を要望しているが、全然進展がない。できないなら新しくつくるべき。②芦原街道を拡幅してほしい、現状で無理なら道路の位置変更をしてもよいのではないか。)

《回答》 道の新規改良工事の採択は、財政の関係からも困難な状況にあるようですが、市としても引き続き要望を行います。最近の採択状況を見ますと、関係地権者全員の同意書が提出されているものから実施されているようです。地元からも関係地権者の同意書を取りまとめて、直接、三国土木事務所に要望するなどの対応をお願いいたします。

総務文教常任委員会報告

平成24年度一般会計補正予算

■総務課

防犯灯設置補助金 26万6千円増額

委員どのような場合に申請が出て来るのか。

理事者 新設の申請ではない。防犯灯の球切れ時に、蛍光灯からLED化する申請が多い。



LED防犯灯

委員 2階全部に取り付けないのか。

3階はどうするのか。

理事者 該当箇所は収納棚がありそこに登り転落の可能性が有る為の処置である。

それ以外は十分に高さがクリアされているため、現状のままで大丈夫である。

3階については、テラスのスペースが確保されており現状のままで良いと考えている。

手すりについても、高さが1・1m以上あり、よじ登らない限り大丈夫である。

金津小学校南校舎 外部手すり取り付け 工事61万円

■教育総務課

金津中学校 地下ポンプ取替え 工事44万円

委員 水がたまるとの事であるが、原因調査はしていないのか。

■文化学習課

金津創作の森 入居作家環境整備 事業補助金50万円

委員 敷地造成には総額いくらかかるのか。

理事者 新規入居することに伴う敷地造成にかかる補助金で、全体では



金津創作の森 創作工房

理事者 雨が降るとクラック等から水が浸入してくるのが原因である。

現在も水がたまっておりポンプ故障のため、新しく交換するものである。

金津東小学校 校内放送設備入れ替え工事225万円

理事者 校内放送設備が故障により音声調整等の不具合解消の為、機器の入れ替えを行うものである。

追加議案 平成24年度一般会計補正予算

■教育総務課

給食センター 整備事業費 3億3千954万円

給食センター整備事業については、整備費が当初の計画より6割を超え、大幅に増額されたもので

あり、委員会として事業費等の再考を求めたものである。

それを受け9月12日の委員会でも前示された案より、建築、機械設備、厨房設備費等において設備の縮小、材料等の変更を行い、約4千万円余りを減額し、整備総額13億9千234万円とする案が示された。

委員 工期が来年7月末になっているが、間に合うのか。

理事者 夏休み期間中に十分な研修を行い9月から万全の体制で配給したい。

委員 新設する給食センターは、最新の安全基準に基づくとの事であるが、安心・安全な給食の提供と市民の食育を推進してほしい。

理事者 これまで給食の安全性について強い危機感を持っていたが、給食センターが完成すれば安全性は十分確保できる。

また食育に関しては所管課の健康長寿課を中心に新規事業を展開していきたい。

委員 理事者の努力は認めたい。

同じ3千食を作っている21年7月に完成した他県の施設と比較すると、新設する施設は、学校給食衛生管理基準に全て適応しており、そのうえ建設費も安価になっている。

今回追加議案において、24年度3億3千954万円(この予算には、12の小中学校の搬入口の設計料を含む)が計上された。25年度においては10億7千106万円の予算が計上される。

■建設課所管

●県道の拡幅要望について(①県道波松芦原線の拡幅を要望しているが、全然進展がない。できないなら新しくつくるべき。②芦原街道を拡幅してほしい、現状で無理なら道路の位置変更をしてもよいのではないか。)

《回答》 道の新規改良工事の採択は、財政の関係からも困難な状況にあるようですが、市としても引き続き要望を行います。最近の採択状況を見ますと、関係地権者全員の同意書が提出されているものから実施されているようです。地元からも関係地権者の同意書を取りまとめて、直接、三国土木事務所に要望するなどの対応をお願いいたします。

市政について問う!

9月定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。
ここでは、その質問と答弁の要旨を掲載します。(通告順)

■吉田 太一 議員

- イジメに対しての対策について
- あわら市観光事業について
- 北潟湖畔公園について

■八木 秀雄 議員

- 平成24年7月21日集中豪雨被害に伴う市の対応状況について

■笹原 幸信 議員

- 本荘公民館改築について
- 幼保一体化に伴う施設整備について

■牧田 孝男 議員

- 北潟湖の環境劣化への対応について

■山川 知一郎 議員

- 消費税増税反対について
- 学校給食センター建設の白紙撤回について

イジメに対しての対策について!



吉田 太一 議員

吉田 小中学校の現在までのいじめの報告件数は何件か。イジメの定義及び喧嘩等の違いをどこで見極めるのか。また、イジメ問題解決の基本はどのように考えているのか。最後に、学校でアンケート調査は行っているのか。保護者等の研修は行っているのか。

教育長 22年度は小中学校で2件中学校で6件、23年度は小中学校で13件中学校で2件の合計24件、本年度は7月末時点で小学校2件

中学校3件が報告されています。

23年度の24件のうち23件は解消済みで、継続支援中が1件となっています。

イジメの定義については、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより精神的苦痛を感じているもので、喧嘩との違いは1対1あるいは集団対集団の対等な関係と云う事で区別をしています。

早期発見・早期対応に向けて取り組む、子どもたちと信頼関係を築き、いじめの起こらない学校・学級づくりに努めたいと考えています。そして学校により差はありますが、年に1〜3回のアンケート調査を行っています。

現在まで保護者への研修会等は行っていないが、今後取り組んで行きたいと考えています。

土木部長 昨年の公園利用者は10万5千人で、自転車4千38回、オート1千293回、バッテリーカー795回です。北潟湖の環境を観光面でも十分活かしたいと考えています。

吉田 利用者数と施設用品等について、観光面で北潟湖畔を生かしたものは考えられないか。

北潟湖畔公園について!

あわら市観光事業について!

吉田 観光地あわらの整備や街づくりをどのように考えているか。

経済産業部長

歴史や文化、つながりや交流など地域資源を活用して行きたいと考えています。

厚生経済常任委員会 報告

平成24年度一般会計補正予算

■市民生活課

交通指導員報酬

7万4千円追加

委員今回1名が追加されても定員を下回っている。区長会に趣旨説明を行い、地区から推薦してもらわないといけない。理事者早速、区長会に依頼し、定員の25名に近づけるように努力したい。



交通指導員の活動の様子

福井坂井地区広域市町村圏事務組合負担金2千427万1千円減額

委員「余熱館ささおか」は、指定管理を行っているのに修繕費を追加で交付しているのはなぜか。

理事者 基本的に簡易な修繕は、指定管理者が対応することになっている。しかし、修繕費が100万円を超える高額な修繕については、広域圏事務組合が負担することになっている。

■子育て支援課

産休等代替職員費補助金

173万1千円

委員 保育士の給与は事業者ごと異なっているが、補助金が多すぎ、臨時

■健康長寿課

予防接種事業

219万1千円

委員 予防接種のポリオが9月から、生ワクチンの集団接種2回から不活化ワクチンの個別接種4回に切り替わるが、既に生ワクチンを1回接種した方など、指導は徹底しているのか。

理事者 保護者には場合に依じた詳しいスケジュールをお知らせしている。また医療機関にも



予防接種

■農林水産課

布目排水機場整備補修工事900万円

委員 見積設計に係る査定は行っているのか。排水機場は特殊な設備であるため、既設メーカーが修繕や更新を行うようになる。よって高い見積もりになるため、専門家に査定してもらい、設計額を抑える必要があるのでは。

理事者 委員の意見を踏

まえ、検討していきたい。

■観光商工課

観光まちなみ魅力アップ事業

600万円

委員 移動式フラワータワーやフラワーバスケットを設置し、観光客がまちなかを周遊する仕掛けを3年間、補助事業で行うが、その後はどうなるのか。

理事者 補助がある3年間で、地域住民が自主的に花作りや管理をして



フラワータワーのイメージ

芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算

委員 急ぎよ、ポンプ場を地上化させる理由は。理事者 7月21日のゲリラ豪雨により送水ポンプ場の地下に設置してあるタンクの水が濁り、送水できない事態になった。原因は、ポンプ場のオーバーフロー管の排水口より雨水が逆流したためであり、早急に解消する必要がある、地上にタンクを設置する。

八木 秀雄 議員



集中豪雨の 対応は万全か！



7月21日 道路冠水

えています。

八木 自主防災組織は機能したのか。また、災害時要援護者の対応は行ったのか。

災害ボランティアセンターの開設、派遣はあったのか。

総務部長

自主防災組織については、地域住民の状況を熟知している自主防災組織だからこそできる詳細な被害調査や消毒剤の配付、ごみの収集等において、会長である区長を先頭に区の役員が活動され、自主防災組織としての機能を発揮されたと考

門型排水路の 地区要望に 応えるべき！

八木 側溝整備の地区要望が多い。予算を増やし要望に応えるべきではないか。

土木部長

本年度は、側溝整備工事などに充当可能な市単独事業予算額は、7千万円、土木費に占める割合は、4・9%であり、この予算を用い、門型の整備、道路改良工事、舗装工事を予定しています。しかし、各地区からの要望に全て応えられる額ではありません。

限られた予算の中ではありますが、危険性及び緊急性、事業の効果、下水道事業との整合性等を考慮し、整備を進めたいと考えています。

笹原 幸信 議員



本荘公民館の 建て替えについて！

笹原 本荘公民館は、老朽化し大変危険な状態にあるにもかかわらず、建て替えの方針、時期等がいまだはっきりと示されていないが、どのようなになっているのか。

教育長

本荘公民館は、旧本荘村役場から転用された木造2階建ての建物であり、築後60年余が経過しています。

そのため建物の老朽化が進み、地域住民の方が使用するにあたり、不安を感じたり、軽ス



本荘公民館

幼保一体化に伴う 施設整備は！

笹原 幼保一体化の新たな施設整備案が示されたがどのように整備を進めるのか。

市長

金津保育所を改修します。その内容は、5歳児の保育室の設置を目的とした改修となりますが、外壁や給食室、トイレなどもリニューアルしたいと考えています。

次に、市役所付近の市有地に建設する施設については、民間事業者を広く公募し、選ばれた事業者が国の施設整備補助金を活用して施設を建設します。

新設保育所を誘致することで現有の民間保育園の経営が圧迫されないように公立保育所の定員を調整し、民間保育園の運営を支援して参ります。

牧田 孝男 議員



北潟湖の環境劣化 の対応について！

牧田 数年前、北潟湖の塩分濃度が高くなり灌漑（かんがい）に悪影響を与えたが、その後再発していないのか。また、開田橋の影響はないのか。

湖底の浚渫（しゅんせつ）工事はどうなっているのか。

岸辺のヨシ群が少なくなり外来種が固有種を圧迫していると聞くと、どのような対応をしているのか。

経済産業部長

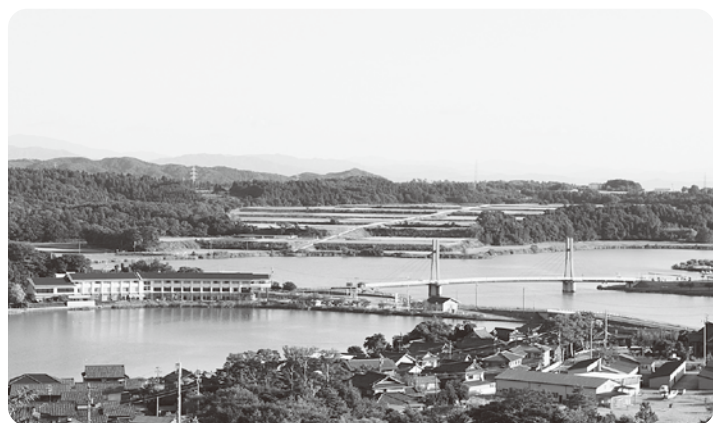
塩分濃度については、平成23年より濃度が上昇し、

本年は水を送るポンプ場も停止せざるを得ない状況でした。水路や雨水を再利用しましたが濃度が低下せず、水確保に苦労しており、抜本的な対策が必要と考えています。また、「開田橋の影響はない」というのが三国土木の見解です。

次に、浚渫工事については、浚渫実施期間中は、20年間で、既に完了しており、窒素やリンが減っているとのこと

最後にヨシ群については、護岸工事のために成育できる地帯が少なく効果は見込まれません。

「外来魚の対応」につ



北潟湖

山川 知一郎 議員



消費税増税に 反対しないのか！

山川知 消費税を平成26年に現在の5%から8%に、さらに27年には10%に引き上げることが国会で決定されたが、これが実施されると、市民の税負担が増え、景気が悪くなるなど、暮らしや営業に大きな影響が出る。

市長は、増税実施に反対すべきではないか。

市長 消費税が10%になると、夫婦と子供2人の4人家族で年収500万円の世帯では、年間13万円から16万円の負担増となります。

給食センター建設 を白紙にせよ！

また、消費が落ち込み景気への影響も避けられないが、社会保障費や赤字国債の増加を考えると、現時点で反対とは言えません。

山川知 学校給食センター建設費は、当初10億円と説明していたのに、今年8月の説明では、16億円と、1・5倍以上に跳ね上がっている。

議会は昨年、10億円ということで給食センター建設用地の買収に同意したのであり、認められない。

小中学校すべてで自校方式による給食を実施するとしても、16億円よりずっと安くできるはずであり、給食センター建設を白紙撤回し、自校方式による給食にすべきではないか。

また、給食センターを建設した場合、自校方式を希望している細呂木地区等の要望は受け入れるのか。

教育長

平成21年4月に定められた「学校給食衛生管理基準」に合致する施設にするためと、食育施設を併設するために、事業費が大幅に増額となりました。

また、給食センターを建設した場合には、一斉にセンター方式に移行して、市内すべての児童・生徒に同じ給食を提供することが望ましいと考えています。

山川知 当初の建設費10億円との説明は、

「学校給食衛生管理基準」を踏まえたはずのものであり、納得できない。

平成24年9月 第62回あわらし議会定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

○…賛成 X…反対 一…欠席等 ※議長(向山信博)は採決に加わらないので「/」で表示		議決結果	吉田 太一	森 之嗣	杉本 隆洋	山田 重喜	三上 薫	八木 秀雄	笹原 幸信	山川 知一郎	北島 登	向山 信博	坪田 正武	丸谷 浩二	牧田 孝男	卯目 ひろみ	宮崎 修	山川 豊	東川 継央	杉田 剛
市長提出議案	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度一般会計補正予算(第3号))	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成23年度一般会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度産業団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度農業者労働災害共済特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度モーターボート競走特別会計歳入歳出決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度工業用水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度公共下水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度農業集落排水事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成23年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計決算の認定について	決算審査特別委員会に付託し継続審査																		
	平成24年度一般会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成24年度芦原温泉上水道財産区水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
市会案	防災会議条例及び災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	市道路線の認定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
請願	平成24年度一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	X	X	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	X	○	/	○	○	○	○	○	○	○
請願	地方財政の充実・強化を求める意見書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○
	学校給食を自校方式で継続することを求める請願	不採決	X	X	X	X	X	X	X	○	X	/	X	X	X	X	X	X	X	X

平成24年度一般会計補正予算(給食センター建設関係)

討論

反対

昨年11月臨時会での給食センター建設についての承認は、教育委員会の誤った説明を前提に行われたものであり、給食センター建設は白紙撤回すべき。また、4,800食を調理する坂井市の給食センターより建設費が高いというのも納得できない。

また、給食センターは子どもたちに対するメリットはなく、財政的なメリットのみである。合併特例債の期限が伸びた今、もう一度給食のあり方を市民とともに考えるべきである。

今回示された予算において建設、機械、厨房設備等で約4千200万円の減額となり、整備費が約13億9千万円になったことで、同じ規模の県外の給食センターと比較しても建設費が安くなっており、評価したい。現状のセンターや自校方式では、夏場は室温が35℃以上となり食の安全に対して不安がある。

新給食センターは、学校給食衛生管理基準にすべて対応しており、室温25℃以下、湿度80%以下の環境で調理することができ、子どもたちに安全・安心な給食が提供できるようになる。

賛成

請願・陳情・意見書

※地方自治法第99条において、議会は、あわらし市の公益に関する事件につき、意見書を国会や関係行政庁に提出することができます。

●学校給食を自校方式で継続することを求める請願

「趣旨」

市は、学校給食すべてをセンター化させるのではなく、すぐれた食育教育を推し進めるため、自校方式を継続させ、広く普及に努めてほしい。

「提出者」 学校給食を考える会世話人 広部 静夫

「結果」 不採択

●北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書提出の要望

「趣旨」

我が国にとって拉致問題の解決が重要課題であり、拉致被害者等のご家族に高齢の方が多く一日も早い救出を待ち望んでいる。よって、現在のこう着状態を一刻も早く打破しなければならない。

「提出者」 嶺南地区特定失踪者の真相究明を願う会

会長 森下 裕

北朝鮮に拉致された日本人を救出する福井の会

会長 池田 欣一

「結果」 意見書を国へ提出

●地方財政の充実・強化を求める意見書採択を求める陳情

「趣旨」

平成25年度の地方財政予算全体の安定確保に向けた対策を求める。

「提出者」 自治労福井県本部 執行委員長 酒井 里巳

「結果」 意見書を国へ提出

●高齢者施策を担うシルバー人材センターへの支援の要請

「提出者」

福井県シルバー人材センター連合 会長 伊興 博子

あわらし市シルバー人材センター 理事長 渡邊 重夫

学校給食を自校方式で継続することを求める請願

討論

反対

昨年の臨時議会で、給食センターの設計業務委託料が議会承認された。議会意思がひとつになったのだからこの請願に賛成することは議会制民主主義の否定につながる。現在、一つの中学校・三つの小学校が補食給食を実行しているが、これを解決するためにも給食センターを選択すべきである。自校方式には自校方式のよさがあるので請願者の思いはわかるが、センター方式が既に議会で承認されたのだから、それを推し進めるべきであり、請願に反対する。

毎日食べている野菜などがどこでどのように作られ、どう調理されているかを知ること、食への感謝の気持ちや安全への関心を育むと同時に、農業の大切さを理解させることになる。これらの目標を達成し、地産地消を進めるためには自校方式が望ましい。また、金津地区の学校の現在の給食室を利用すれば、給食センター建設より自校方式の方が安くできる可能性は十分にあり、財政的に見ても、自校方式にすべきである。

賛成

議会日誌

おもな会議のみ掲載

7月12日	議会活性化特別委員会
20日	厚生経済常任委員会 全員協議会
30日	総務文教常任委員会
8月9日	総務文教常任委員会
21日	厚生経済常任委員会
27日	議会運営委員会
28日	全員協議会
9月3日	第62回議会定例会 開会
10日	第62回議会定例会・一般質問 広報編集特別委員会
11日	総務文教常任委員会
12日	総務文教常任委員会
13日	厚生経済常任委員会
14日	厚生経済常任委員会
18日	全員協議会
20日	議会運営委員会
21日	全員協議会 総務文教常任委員会 厚生経済常任委員会 議会運営委員会
第62回議会定例会 閉会	
24日	広報編集特別委員会
25日	広報編集特別委員会
10月2日	広報編集特別委員会

ふるさと探訪

「竹田新道碑」

「渡辺茂十郎碑」があわら市東山区と坂井市丸岡町川上区の境に建てられています。この石碑には血のにじむような竹田新道開発の物語が秘められています。

明治期まで山竹田への通路は峠を超えなければならなかった。そんな難渋な山道を炭や薪を背負って町へ出かけなければならない村人の困難と貧苦を救い、何とかして、丸岡や東山・後山への交通の利便を実現したい」と固く決意したのが、渡辺茂十郎氏であります。

明治三十年村内の有志と一緒に寝食を忘れて県当局と交渉し工事に着手しました。そして一切の責任を負い、川上区に止宿して工事を督励したのであります。しかし工事は困難を極め、人夫の雇用もままならず、其の上工事費は遂に予算額の二倍にも及びました。しかし氏はこれに屈することなく、先祖伝来の財産を投じてこれにあて、同三十五年、遂に工事を終え新道が開通しました。

碑には「竹田新道の開けしを祝して」と題して「いとやすく あゆみのぼるや 川ざとへ」と刻まれています。私財を子孫に残すくらいならば、これを投げうってより良き社会の礎をつくるのが人間の使命であることを、この石碑は物語っているのだと思います。

(牧田)



編集後記

早いもので広報編集特別委員会に所属して1年が経過し、今回の第34号で2年目に入りました。就任した時点で私たちは、まず市民の皆さんに読んでいただける広報をどのようにつくっていくのか協議いたしました。

協議の結果、できる限り手作り感を出していこうと決めました。

また、記事はできるだけシンプルにして写真を多用することになりました。

初めての試みとして、議案に対する各議員の表決結果と討論を掲載するようにいたしました。

議会が閉会すると、息つく間もなく翌日より2班に分かれ原稿の納期に間に合わせるべく、パソコンを前に記事づくりに取り組んでいます。

お手元に議会だよりが届きましたらご意見をお聞かせください。

(笹原)

編集・発行責任者

議長 長 向 山 信 博

市議会広報編集特別委員会

委員長 笹 原 幸 信

副委員長 牧 田 孝 男

委員 吉 田 隆 一

委員 杉 本 洋

委員 山 川 知 郎

委員 坪 田 正 武

委員 卯 目 ひろみ

発行 あわら市議会 編集 あわら市議会広報編集特別委員会

◆市民に親しまれる、紙面作りを目指しています。ご意見、ご感想をお待ちしております。

〒919-0692 福井県あわら市市姫三丁目1番1号 あわら市役所議会事務局
Tel. 0776-73-8045(直通) E-Mail. gikai@city.awara.lg.jp